実験の概要(100字程度)

本市の一部と京都市の一部を実験地域とし、住民と観光客を利用者として想定し、自動運転バスと四種の既存公共交通、ホテル、観光施設、小売店、飲食店等を便利かつお得に利用できるMaaSを提供し、公共交通を活用した利用者の周遊を促進する。

協議会の構成員

大津市、京阪ホールディングス株式会社、京阪バス株式会社、日本ユニシス株式会社、京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻空間情報学講座、地域事業者(琵琶湖ホテル他)、滋賀県、国土交通省近畿運輸局(または)国土交通省滋賀運輸支局

地域の交通課題

本市中心市街地は、利用者の減少に伴い、JR大津駅から観光客に大変人気のある琵琶湖湖岸への路線バスが廃止となり、公共交通機関がない状況である。また、比叡山は、入山のために、大津市側・京都市側双方からケーブルカー、ロープウェイなどが整備され、山内各エリア間はシャトルバスが結んでおり、交通アクセスは整備されているものの、多数の交通機関を乗り継ぐ複雑さや、所要時分の見込みの立てにくさが課題となっている。

本格的な導入に向けた検証項目、目標値

- ・MaaSアプリのダウンロード数:2,367
- ・MaaSアプリ内デジタルフリーパス購入数:2,367
- ・MaaSアプリ内クーポン利用件数:4,734
- ・地区別観光入り込み客数(中心市街地、比叡山周辺):
前年比1%増

実験内容

1 スマートフォン向けMaaSアプリの構築及び実証

(1) MaaSアプリの対象交通手段

- ・中心市街地での自動運転バス路線等、計9路線

(2) 交通以外のサービスとの連携

- ・観光施設・小売店・飲食店・物販店・ホテル等の情報やクーポン

(3) 検索、予約、決済の有無及び手段

- ・検索:MaaSアプリ内で上記交通手段を一括して検索が可能

- ・決済:①MaaSアプリ内で購入可能なデジタルフリーパス

- ②MaaSアプリ内で購入可能なデジタルクーポン

- ・乗車時確認:①MaaSアプリの決済済み画面表示を目視で確認

- ②車内に設置された端末に二次元コードで確認

(4) 現地実証実験期間

- ・令和元年(2019年)11月1日~30日(予定)

(5) 利用料金

- ・開発したMaaSアプリの利用料は無料

- ・デジタルフリーパスは1日定額制

(6) 特記事項特記事項

- ・MaaSアプリは2カ国語対応(日本語、英語)

2 データ連携方法

(1) 複数の事業者間のデータ連携方法

- ・MaaSアプリと飲食店情報サイトをAPI連携

(2) 他のMaaSと連携可能なシステムの構築方法

- ・MaaSアプリのAPIを公開